

## 地域・小規模校における教育でのICT利活用

全校生徒27名の小規模な徳島県の下名(しもみょう)小学校は、教育現場にICTの利活用を進めている。富士通(株)と(株)NTTドコモはこの取り組みに協力し、2014年から児童用にタブレットPCやモバイル回線を提供し、授業でのICT利活用を実証している。

### 背景

人口減少社会における学校教育対策として、政府はICT利活用を検討している。美しい自然に囲まれた徳島県三好市にある全校生徒27名の下名小学校では、生徒の情報活用能力などの育成に向けてICT利活用を進めている。富士通(株)と(株)NTTドコモは、今後の少子化・過疎化の社会変化を先取りすると思われる下名小学校の取り組みに協力。平成26年6月から教育におけるICTの利活用について実証実験を開始している。

### 概要

- 児童用にタブレットPCやモバイル回線を提供し、授業でICT利活用を実証。デジタルドリルや動画コンテンツの利用、校外学習やプレゼンでの活用、家庭学習での活用、連携校との多地点テレビ会議、教育用SNSでの情報共有など、幅広い活用を行っている。
- 下名小学校は山間部に位置することから、これまで都市部に比べてネットワーク環境が整っていないが、恵まれない条件下でも教育現場で効果的なICT利活用が行えることを、実践的に実証しようとしている。



学校・校外・家庭でのICT利活用

### アピールポイント

- 富士通(株)は「学びを通して一人ひとりが夢に挑戦できる未来を、教育に関わる人々とともに創っていく」ことを文教分野のブランドプロミスとして、学習に適したタブレットPC、ネットワーク環境、教育用アプリケーション、校務支援システム等、トータルにサポート。
- ネットワークを活用し、連携校や校外行事との情報交流を実施し、児童に多様な経験の場を提供。児童のコラボレーション、コミュニケーション能力の育成機会として、ICTを活用した協働学習やプレゼン等に貢献した。



学習情報活用ソリューション「知恵たま」で授業準備～授業～振り返りまでサポート



### Key Person

三好市立下名小学校教頭 中川齊史氏：長年にわたる教育のICT利活用の実践経験を生かして、本実証を牽引した。



中川齊史氏